新旧対照表

大分県土木工事検査必携

令和4年10月

大 分 県

編	章	節	条	枝	mayor attack		* *	ng b	10 10 10		検 査	箇所		備考
				番	工 種		検査	rg H	規格値	割	合	最少箇	前 所 数	11冊 芍
3	2	Ήε	4		矢板工[指定仮設・任意仮 設は除く]	基	準	高▽	± 50					
木工事共通	般施	通的			(鋼矢板) (軽量鋼矢板)	根	入	長	設計值以上	随	時	随	時	実測不能の場合は
事共	I.	工種			(コンクリート矢板) (広幅鋼矢板)	変	位	<u>.</u> 6	100	KEE	H-G	NE	H-G	管理資料により判定
通編					(可とう鋼矢板)	延	長	I.	-200					
			5		縁石工 (縁石、アスカーブ)	延	長	I.	-200	随	時	1		管理資料により確認
			6		小型標識工	設	置高	ė H	設計値以上					
						基	幅	w(D)	-30					
							高	ð h	-30	随	時	全項目	共 1	管理資料により確認
						礎	根	入れ長	設計値以上					
			7		防止柵工	基	幅	w	-30					
					(立入防止柵) (転落(横断)防止柵)	碰	高		-30	随	時	全項目	1 # 1	管理資料により確認
					(車止めポスト)	バイ		付高 日	+30	1752				2-22-11-0-7-10-0
			8	1	路側防護柵工	基	幅	W W	-20 -30					
					(カート・レール)	磁磁	高		-30	Edit	時	全項目		管理資料により確認
						-	12	- "	+30	HET	pty.	主棋目	大 1	日/里賀村により開診
			8	2	路側防護柵工	- 2	・ム取		-20					
			3	_	(ガート・ケーブ・ル)	基	幅	w	-30	1				
						788	高		-30	随	時	全項目	共 1	管理資料により確認
						礎	延		-100					
							フ ′ ル 取	付高 H	+30 -20					
			9		区画線工	厚 (溶	き、強っ式	(のみ)	設計値以上	師	時	全項目	共 1	管理資料により確認
						襌		W	設計値以上	Ind.		2		2-22-711-0-71000
			10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高	ż	h		随	時	1		管理資料により確認
			11		コンクリート価強装工		獎 厚		。ロハ・塗膜甲 甲が酸膜マの90 %以上。 り、ロット・塗膜厚 機・変膜原 ・の以上。 の分 ・のの ・のが ・のが ・のが ・のが ・のが ・のが ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので		1ロット当たり3 (1ロット	制定数は6 点以 は5 0 0 m2)	E	管理資料により確認
			12	1	プレテンション桁製作工	桁	長 L	(m)	±L/1000					
					(購入工)	断证	可の外	形寸法	±5	随	時	随	時	管理資料により確認
					(けた橋)	橋	行の一	€ 9 δ 1	±8	HEE	nd	HEZ	nd	日本担関すてにより推議さ
				L		横方	向の曲	まがり δ 2	±10	<u> </u>				
			12	2	プレテンション桁製作工	桁	長 L	(m)	±10···L≤10m ±L/1000··· L>10m					
					(購入工)	断译	i の外	形寸法	1	随	時	随	時	管理資料により確認
					(スラブ桁)	橋 相	行のよ	E 9 δ 1	±8	1 ~		174		
						横方	向の曲	まがり δ 2	±10	1				
			13	1	ポストテンション桁製作工	幅	(上) w 1	+ 10					
) w ,	- 5 ± 5	1				
						高		т h	+ 10	1				
						÷			- 5 &<15···±10	随	時	随	時	管理資料により確認
						桁支	[#] £	長長	ル≧15…±(ℓ-5) カンつ -30mm以内					
						横方	万向最	大タワミ	0.8 £					

編	i j	節	条	枝番	工 種		検査項目	規 格 値		検 査	箇 所	備考
799	φ.,	TEE 1	*	番			快直視日	XR 相 IE	割	合	最少箇所数	188 *5
1+:		3 共	4		矢板工[指定仮設・任意仮 設は除く]	基	準 高 ▽	± 50				
木井		通的			(鋼矢板) (軽量鋼矢板)	根	入 長	設計値以上				中御て佐の押入け
	I.	T.			(コン夘ート矢板) (広幅鋼矢板)	変	位。	100	随	時	随 時	実測不能の場合は 管理資料により判定
通編	1	種			(可とう鋼矢板)	延	長 L	-200				
****		ŀ	5		縁石工	延	長 L	-200	師	時	1	管理資料により確認
		ŀ	6		(縁石、アスカーフ') 小型標識工	20	置高さ日	設計値以上	19/2	m-y	1	日左其行により帰却
							睡 同 c n	-30				
						基			随	畴	全項目共1	管理資料により確認
							高さ h	-30				
		ļ	7		防止柵工	礎	根入れ長	設計値以上				
			'		(立入防止柵) (転落(横断)防止柵)	基	₩ w	-30				
					(転落(傾断)防止槽) (車止めポスト)	礎	高さ h	-30	随	時	全項目共1	管理資料により確認
						バイ	プ取付高 H	+30 -20				
		ſ	8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	基	₩ w	-30				
						礎	高さ h	-30	随	畴	全項目共1	管理資料により確認
						۲ -	- ム取付高 H	+30 -20				
		ľ	8	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	基	幅 w	-30				
					(A 17 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	杰	高さ h	-30				
						礎	延長 L	-100	随	時	全項目共1	管理資料により確認
						h -	フ'ル取付高 H	+30				
		ŀ	9		区画線工	EE.		-20 設計値以上				
						(溶			随	時	全項目共1	管理資料により確認
		ļ	10		道路付属物工	幅	W	設計値以上				
					(視線誘導標) (距離標)	高	å h	±30	随	時	1	管理資料により確認
			11		コンクリート面塗装工	·	を使用量	網道路橋防食便 覧Ⅱ-82「歩- Ⅱ.5.5名・途料の標準使用量と標準膜厚」の標準使用量と標準 以上	The state of the s	-		
			12	1	プレテンション桁製作工				随	時	随 時	管理資料により確認
			12			桁		±L/1000				
					(購入工)		面の外形寸法	±5	随	時	随 時	管理資料により確認
					(けた橋)	_	桁のそりδ1	±8				
		Į			-0	横方	「向の曲がりδ2	±10				
			12	2	プレテンション桁製作工	桁	長 L (m)	±10···L≤10m ±L/1000··· L>10m				
					(購入工)	断页	面の外形寸法	±5	随	時	随 時	管理資料により確認
					(スラブ桁)	橋	桁のそりδ1	±8				
						横力	「向の曲がりδ2	±10				
		f	13	1	ポストテンション桁製作工	幅	(上) w ₁	+ 10 - 5				
						福	(下) w ₂	± 5				
						高	à h	+ 10				
						桁支	展 展	- 5 &<15…±10 &≥15…±(&-5) カッつ -30mm以内	随	時	随 時	管理資料により確認
						構け	戸向 最 大 タワミ	0.8 &				
ш		_	_			~ /						1

		L	枋						検 査	箇 所		
編章	節	条	枝番	工 種	検査項目		規格値	1	割 合	最少自	前 所 数	備考
3 土木工事共通編	共通的			現場塗装工	验 蕨 厚		a. ロ 原 中		1ロット当たり測 (1ロットは20	定数は12点 0 m2~500	以上 m2)	管理資料により確認
	4 基	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工)	幅	W	設計値以上					
	礎工			(割栗石基礎工)	厚 さ t ₁	. t 2	-30	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定
				(均しコンクリート)	延長	L	各種構造物の 規格値による					
		3	1	基礎工(護岸) (現場打)	基準高	∇	±30					
					幅	W	-30					管理資料により確認
					高さ	h	-30	随	時	随	時	B試験随時
					延長	L	-200					
		3	2	基礎工(護岸) (プレキャスト)	基準高	∇	±30					
					延長	L	-200	随	時	随	時	管理資料により確認
		4	1	既製杭工 (コンクリート杭)	基 準 高	∇	±50					
				(鋼管杭) (H鋼杭)	根 入	長	設計値以上					実測不能の場合は
					偏 心 量	d	D/4以内かつ 100以内	随	時	随	時	管理資料により判定
					傾	斜	1/100以内					
		4	2	既製杭工 (鋼管ソイル・セメント杭)	基準高	∇	±50					
					根 入	長	設計値以上					dominate - IN A L
					偏 心 量	d	100以内	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定
					傾	斜	1/100以内					
					杭 径	D	設計値以上					
		5		場所打杭工	基 準 高	∇	± 50					
					根 入	長	設計値以上					
					偏 心 量	d	100以内	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定
					傾	斜	1/100以内					
					杭	径	設計径					
		6		深礎工	基準高	▽	(公称径)-30以上 ± 50					実測不能の場合は
												管理資料により判定
					根入	長	設計値以上		pint.		-at-	※ライナープレートの場合 は、その内径、補強リン
					偏 心 量	d	150以内		随時	la E	時	がを必要とする場合 は、補強リングの内径と し、モルタルライニングの場合は、モルタル等の土留
					傾	斜	1/50以内 設計径					合は、モルタル等の土留 め構造の内径にて測
		7	L	オープンケーソン基礎工	基礎径	D	(公称径)以上※					定。
							±100					
					ケーソンの長さ	0	-50					
					ケーソンの幅	w	-50		各打設口	ットごと		管理資料により確認
					ケーソンの高さ	h	-100					
					ケーソンの壁厚	t	-20					
Ш					偏 心 量	d	300 以内					

		条	枝番	工 種		检 3	並項 目	1	規 格 値		検査			備考
	節		ー	現場塗装工						9	日 合	最少自	前 所 数	***************************************
	3 共通的工種	31		現物型家上	途	膜	厚		a. ロ 原子 は できません は できません できません できません できません できません できない は できない できない できない できない できない できない できない できない		1ロット当たり (1ロットは2	測定数は12点は00m2~500	以上 m2)	管理資料により確認
	4 基	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工)	幅			W	設計值以上					
	礎工			(割栗石基礎工)	厚	ē	≛ t	1 . t 2	-30	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定
				(均しコンクリート)	延		長	L	各種構造物の 規格値による					
		3	1	基礎工(護岸) (現場打)	基	準	高	∇	±30					
					幅			W	-30	Prés	時	Prés	時	管理資料により確認
					高		ð	h	-30	随	prije.	随	nd	B試験随時
					延		長	L	-200					
		3	2	基礎工(護岸) (プレキャスト)	基	準	高	∇	±30	随	時	随	時	(株田次金) : - 1-10 metro
					延		長	L	-200	RED.	inst	822	nd	管理資料により確認
		4	1	既製杭工 (コンクリート杭)	基	準	高	∇	±50					
				(鋼管杭) (H鋼杭)	根		入	長	設計値以上	nd.	-	Prés	n4	実測不能の場合は
					偏	心	撒	d	D/4以内かつ 100以内	随	時	随	時	管理資料により判定
					傾			斜	1/100以内					
		4	2	既製杭工 (鋼管ソイルセメント杭)	基	準	商	∇	±50					
					根		入	長	設計値以上					
					偏	心	量	d	D/4以内かつ 100以内	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定
					傾			斜	1/100以内					
					杭		径	D	設計値以上					
		5		場所打杭工	基	準	高	∇	± 50					
					根		入	長	設計値以上					
					偏	心	业	d	100以内	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定
					傾			斜	1/100以内					
					杭			径	設計径 (公称径)-30以上					
		6		深礎工	基	潍	高	∇	± 50					実測不能の場合は
					根		入	長	設計値以上					管理資料により判定
					偏	心	量	d	150以内		随時	RÉ	[時	※ライナープレートの場合 は、その内径、補強リン がを必要とする場合 は、補強リングの内径と し、モルタルライニングの場合は、モルタル等の土間
					傾			斜	1/50以内					は、補強リングの内径とし、モルタルライニングの場
					基	礎	径	D	設計径 (公称径)以上※					台は、モルタル等の主留 め構造の内径にて測 定
		7		オープンケーソン基礎工	基	200	高	∇	±100			1		AL.
					ケー	-ソン	の長さ	<u> </u>	-50					
					ケー	- ソ:	ンの幅	w	-50					
					ケー	-ソン	の高さ	. h	-100		各打設	ロットごと		管理資料により確認
					ケー	-ソン	の壁馬	Į t	-20					
					偏	è	· #	t d	300 以内					

П							規	格 値		検 査	箇 所	
## :	敞	節	条	枝番	工 種	検査項目	個々の測定値 (X)	10個の測定値 の平均(X ₁₀)	\$1	合	最少箇所	備考
							中規模 小規模 以上 以下	中規模以上	101	-	数	
10 道路編	2 舗	4 舗			歩道路盤工 取合舗装路盤工	基準高 ▽	±50	-	nu.			
箱	3%	装工			路肩舗装路盤工	厚 t<15cm	-30	-10	随	時	全項目共3	管理資料により確認
						č t≧15cm	-45	15	歩道路盤	エのみ 1/200m		
						₩ w	-100	-				
					歩道舗装工 取合舗装工	厚 さ	-9	-3	時		全項目共3	管理資料により確認
					路肩舗装工 表層工	幅	-25	-	歩道路盤	エのみ 1/200m		各種質がたより嫉妬
П		1		44:			規:	恪 値		検 査	箇所	
編			条	枝番	工程	検査項目	個々の測定値	測定値の平均	割	合	最少箇所数	備考
10 道路編	14道路維持	4舗装工	5		切削オーバーレイエ	厚 さ t (切削)	-7	-2				
	57					厚さ t (オーバーレイ)	-	-9	跡	時	全項目共3	管理資料により確認
						₩ w	-	25	P4		T X D X O	B ALSO THUS A PRINC
						延 長 L	-	100				
						平 坦 性	-	3mプロフィルメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き)				

_	_	_		_							
							規相	恪 値	検 査	箇所	
縅	傘	節	条	枝番	工和	検査項目	個々の測定値 (X)	10個の測定値 の平均(X ₁₀)	割 合	最少簡所	備考
							中規模 以上 以下	中規模以上		数	
10	2 舗	4 締			歩道路盤工 取合舗装路盤工	基準高▽	±50	-			
路編	装	4舗装工			路肩舗装路盤工	厚 t<15cm さ *>15	-30	-10	随 時	全項目共3	管理資料により確認
					č t≧15cm	-45	15	歩道路盤工のみ 1 / 2 0 0 m		L-124111-055 Mag	
					₩ w	-100	-				
					歩道舗装工 取合舗装工 路戸舗装工	厚さ	-9	-3	随時	全項目共3	管理資料により確認
					路用翻接工 表層工	幅	-25	-	歩道路盤工のみ 1/200m	E M D M 3	日光里東村により開設
Г				枝			規制	恪 値	検 査	簡所	
	章			番	工 種	検査項目	個々の測定値 (X)	測定値の平均	割合	最少箇所数	備考
10 道路編	14道路維持	4舗装工	5	1	切削オーバーレイエ	厚 さ t (切削)	-7	-2			管理資料により確認
	3.9					厚さ t (オーパーレイ)	-	-9	随 時	全項目共3	
						₩ w	=	25	174		LI-LISC I III - OL S MAING
						延 長 L	-1	100			
						平 坦 性	-	3mプロフィルメーター (σ)2.4mm以下 直跳式(足付き) (σ)1.75mm以下			
				2	切削オーバーレイエ (面管理の場合) 厚さまたは 標高較英(切削)のみ	厚 さ t (標準較差) (切削)	-17 (17) (面管理と して緩和)	-2 (2)			
						厚さ t (オーパーレイ)	-9		1 1796/2-	つき1断面	管理資料により確認
						₩ w	=	25	11710	- C	L-LIX I NOW YELD
						延 長 L	-1	100			
						平 坦 性	-	3mプロフィルメーター (σ)2.4mm以下 直跳式(足付き) (σ)1.75mm以下			

編 1	is an	,	枝		W + 45 F	10 10 10	検 査 箇 所	em +r.
1	-		番	工 種	検査項目	規格値	割 合 最少箇所数	備考
11 2 農 場	3整地	1		表土扱い	厚 さ (T)	- 20%	・厚さは、1ha当たりおおむね3点測定する。	原則として実測、場合 により管理資料による。
農業農村整備	3 T			基盤造成 表土整地	基 準 高 (V)	± 150	 基準高、均平度は、1ha当たりおおむむ3点測定する。 	原則として実測、場合
整備					均 平 度 (◇)	± 50	211000000000000000000000000000000000000	により管理資料による。
編	5-			畦畔復旧	幅 (B) 高 さ (H)	-50 -50	・幅、高さは、施工延長おおむね2,000mにつき1箇所 以上測定する。	原則として実測、場合 により管理資料による。
		4		吸水渠	布 設 深 (H)	-75	・布設深、開隔は、おおむね10本につき1本の割合で	
		暗渠			間 隔 (B)	±750	次により測定する。	原則として実測、場合
		排水			延 500m未満	-1000	・上、下流端の2箇所。 ただし、1本の布設長おおむね100m以上のときは、	により管理資料による。
		I		集水渠(支線)	L 500m以上	- 0.2 %	中間点を加えた3箇所を測定する。	
				導水渠(幹線)	布 設 深 (H) 征 500m+滞	-75	・布設深は、施工延長おおむね500mにつき1箇所以上	原則として実測、場合
					延 長 L 500m 以上	-1000 - 0.2 %	測定する。	により管理資料による。
	7	11		道路工	幅 (B)	-150		
	道路			(砂利道)	厚 さ (T)	-45	・幅、厚さは、幹線道路は施工延長500mにつき1箇所 以上測定する。	原則として実測、場合
					延 200m未満	-400	・支線道路は、施工延長おおむね2,000mにつき1箇所 以上測定する。	により管理資料による。
					長 L 200m以上	- 0.2 %	2A±100/E 7 '90	
	地面			耕起深耕	耕起 果 樹深	-75		原則として実測、場合
対 近 反	也是				T 野 菜	-15	・耕起深は、おおむねlha当たり1箇所の割合で測定する。	により管理資料による。
4				テラス	幅 (B1)	-150		
				(階段畑)	耕 起 幅 (B2)	-150	・幅、耕起幅、側溝幅、側溝高さ、法勾配は、テラス延長	原則として実測、場合
					側 溝 幅 (B3)	-75	おおむね1,000m当たり1箇所以上測定する。	により管理資料による。
					側 溝 高 さ (H)	-75		
				土壤改良	pH 測 定	±0.5	・pH測定は、おおむね10ha当たり1箇所の割合で測定する。	原則として実測、場合 により管理資料による。
				改良山成	基 準 高 (V)	±300	 基準高は、おおむねlha当たり1箇所の割合で測定する。 法勾配は、おおむねl,000㎡当たり1箇所の割合で測定 	原則として実測、場合
							する。 ・切土部のみ対象とする。	により管理資料による。
		6			幅 (B1)	-150		
				(耕作道)	厚 さ (T)	-45	・幅、厚さ、側溝幅、側溝高さは、施工延長おおむね 1,000m当たり1箇所以上測定する。	原則として実測、場合
					側 溝 幅 (B3)	-75	1,000m当たり1箇所以上測定する。	により管理資料による。
					側 溝 高 さ (H)	-75		
7 7		1		支保工	幅 (Bタイプ)	-0		
E F	トン				b (C、D タイプ)	-40	・幅、間隔は、随時測定する。	原則として実測、場合 により管理資料による。
277	ノル				間 隔 (2)	±75		
/		2		コンクリート覆工	基 準 高 (V)	±50		
4					₩ (B)	-40		
					巻 厚 (T)	-0	・基準高、幅、高さは、施工延長100m~200mに1箇所 以上測定する。	
					高 さ (H)	-40	ただし、施工延長100m未満は2箇所する。	
	l				中心 直線部	±100	・巻厚、中心線のズレは、随時測定する。	
	l				(e) 曲線部	±150	・必要に応じてB試験する。	
					延 150m未満 長	-150		
1 L	\perp				L 150m以上	- 0.1 %		
€ 1	く開	2		現場打開水路	基 準 高 (V)	±30		
3	. I				幅 (B)	-25		
4	s				厚 さ (T)	-20		
					高 き (H)	-25	・基準高、幅、高さは、施工延長100m~200mに1箇所 以上測定する。	
					線の直線の	±50	ただし、施工延長100m未満は2箇所する。	原則として実測、場合
					(e) 曲線部	±100	・中心線のズレは、随時測定する。	により管理資料による。
					スパ 直線部	±20	・スペンの標準9mとした場合。	
					(L) 曲線部	±30		
					延 150m未満	-150		
	l				長 L 150m以上	- 0.1 %]	
ш	-	٠.	•	•			1	

編	章	節	条	枝	工種	検査項目	規格値	検査簡所	備考
11	2	3	1	番	表土扱い	厚 さ (T)	- 20%	割 合 最 少 箇 所 数 · 厚さは、Iha当たりおおむね3点測定する。	原則として実測、場合
業:	場	整地			基整诰成	左 進 高 (V)		・序では、IIIa当にりおおびなるの然的による。	により管理資料による。
村	備	I.			表土整地	基 準 局 (V) 均 平 度 (◇)	± 150 ± 50	・基準高、均平度は、lha当たりおおむね3点測定する。	原則として実測、場合 により管理資料による。
備	事				基盤造成	標高格差(平均値)	± 50		
編					表土整地 (面管理の場合)	標高格差(個々の計測値)	± 150	1工事につき1断面	管理資料により確認。
					畦畔復旧	幅 (B)	-50	・幅、高さは、施工延長おおむね2,000mにつき1箇所	原則として実測、場合
						高 き (H)	-50	以上測定する。	により管理資料による。
			4 暗		吸水渠	布 設 深 (H)	-75	・布設深、間隔は、おおむね10本につき1本の割合で	
			~渠排			間 隔 (B)	±750	次により測定する。 ・上、下流端の2箇所。	原則として実測、場合により管理資料による。
			水工			延 500m未満	-1000	ただし、1本の布設長おおむね100m以上のときは、 中間点を加えた3箇所を測定する。	により官性資料による。
			т.		集水準(支線)	L 500m以上 布 設 深 (H)	- 0.2 % -75	110111011110111111111111111111111111111	
					導水渠(幹線)	和 取 休 (ロ) 延 500m未満	-1000	・布設深は、施工延長おおむね500mにつき1箇所以上 測定する。	原則として実測、場合
						長 I. 500m以上	- 0.2 %	DOAL 7 SA	により管理資料による。
		7	11		道路工	幅 (B)	-150		
		道路			(砂利道)	厚 さ (T)	-45	・幅、厚さは、幹線道路は施工延長500mにつき1箇所 以上測定する。	原則として実測、場合
						延 長 200m未満	-400	以上測定する。 ・支線道路は、施工延長おおむね2,000mにつき1箇所 以上測定する。	により管理資料による。
						L 200m以上	- 0.2 %	3.20027 30	
	農用	5畑面工	1		耕起深耕	耕起果樹深	-75	・耕起深は、おおむね1ha当たり1箇所の割合で測定する。	原則として実測、場合 により管理資料による。
	造成工	_				T 野 菜	-15		により官理資料による。
	事				テラス (階段畑)	幅 (B1)	-150		
						耕 起 幅 (B2)	-150	・幅、耕起幅、側溝幅、側溝高さ、法勾配は、テラス延長 おおむね1,000m当たり1箇所以上測定する。	原則として実測、場合 により管理資料による。
						側 溝 幅 (B3) 側 溝 高 さ (H)	-75	おおではは1,000円当たり1画所以上的だりる。	により日注貝行による。
					土壤改良		-75	・pH測定は、おおむね10ha当たり1箇所の割合で測定する。	原則として実測、場合
						pH 測 定	±0.5		により管理資料による。
					改良山成	基 準 高 (V)	±300	 基準高は、おおむね1ha当たり1箇所の割合で測定する。 法勾配は、おおむね1,000㎡当たり1箇所の割合で測定する。 切土部のみ対象とする。 	原則として実測、場合 により管理資料による。
			6		道路工 (耕作道)	幅 (B1)	-150		
						厚 さ (T)	-45	・幅、厚さ、側溝幅、側溝高さは、施工延長おおむね 1,000m当たり1簡所以上測定する。	原則として実測、場合
						側 溝 幅 (B3)	-75	1,1-11	により管理資料による。
	5	5	1		支保工	側 溝 高 さ (H)	-75		
	水路	ŀ	1		XM.	(B242)	-0		原則として実測、場合
	卜	ィネ				(C, D 947)	-40	・幅、間隔は、随時測定する。	により管理資料による。
	ネ	ルエ	2		コンクリート覆工	問 隔 (2)	±75		
	ルエ		2		一ンクグ・17後上	基準高(V) 幅(B)	±50		
	事					巻 厚 (T)	-40 -0	・基準高、幅、高さは、施工延長100m~200mに1箇所	
						高 さ (H)	-40	以上測定する。 ただし、施工延長100m未満は2箇所する。	
						中心 古 幼 如	±100	・巻厚、中心線のズレは、随時測定する。	
						線のズル 曲線部	±150	・必要に応じてB試験する。	
						(e) M NN III 延 150m未満		ESCOLO CIPAR 7 30	
						長	-150		
-	6	6	2		現場打開水路	L 150m以上 基 準 高 (V)	- 0.1 % ±30		
	水	開渠	-		300033003300	整準所(V)	±30 -25		
	工事	工				厚 さ (T)	-20		
	40					高 さ (H)	-25	・基準高、幅、高さは、施工延長100m~200mに1箇所	
Н						中心 直線部	±50	以上測定する。 ただし、施工延長100m未満は2箇所する。	原則として実測、場合
						ズレ (e) 曲線部	±100	・中心線のズレは、随時測定する。	原則として実測、場合 により管理資料による。
						スパ 直線部	±20	・スパンの標準9mとした場合。	
Н						ン長 (L) 曲線部	±30		
						延 150m未満	-150		
Н						長 L 150m以上	- 0.1 %		